

すみだ やさしいまち宣言・人と地域と環境のために

おもてなしのまちづくりプロジェクト

平成24年度
墨田区区民活動推進課

おもてなしの ところで つながろう

「すみだ やさしいまち宣言」運動は、平成12年にスタート。すみだのまちを人と地域と環境にやさしいまちにするために、「やさしさ」や「おもいやり」の心を大切にしたまちづくり運動を進めてきました。

そして平成24年5月、待ちに待った東京スカイツリー®が開業し、すみだも世界中から注目を集める国際観光都市へと変化し始め、今まで以上に多くの方々に、すみだのおもてなしの心が発信されていきます。

そこで、すみだのまちを訪れる多くの方々に、まちや地域の魅力を肌で感じてもらい、「また訪れたい」と思ってもらうためにはどうすればよいかをみんなでいっしょに考えました。

題して「おもてなしのまちプロジェクト」。区民の皆さんと区が、ともに知恵や力を出し合う協働の取り組みです。



1 スポーツGOMI拾い大会 平成24年6月30日	ごみ拾い+スポーツで おもてなしのまち・すみだ をアピール
2 夏休み東向島体験ツアー 平成24年8月9日～12日、8月16日～19日	地元中学生・高校生が 東向島の魅力をガイド
3 紙すき体験 平成24年10月20日	思いのこもった 手作りの招待状が できあがりました
4 まちかど こども 放送局 平成24年10月8日・14日・11月3日	子どもレポーターが すみだの魅力を 体験レポート
5 巻き寿司でおもてなし 平成25年1月25日	日本の食文化で外国人を おもてなし
6 実施報告／交流会 平成25年3月29日	おもてなしのまちづくり プロジェクトを振り返る 報告会

1 スポーツGOMI拾い大会 平成24年6月30日

ごみ拾い+スポーツで おもてなしのまち・すみだ をアピール

スポーツ感覚で楽しみながらごみを拾って、まちをきれいにする「スポーツGOMI拾い大会」を6月30日に開催しました。これはすみだ環境フェア2012「広げよう! ごみのない花と緑のあふれるまち」の目玉企画で、すみだ環境フェア2012実行委員会が企画したものです。国際観光都市すみだ、おもてなしのまちすみだのPRをしようというもので、午後には代表によるシンポジウムも開かれました。

参加した25チーム・150人が、1時間で集めたごみの総重量は166.7キログラム。「こんなに一生懸命ごみ拾いができるなんて」と、中学生・高校生チームもおとなのチームも、みんながホットになれるごみ拾い大会でした。



①「ごみ拾いは、スポーツだ」の号令とともに競技開始



①「イエーイ! ノリノリの橋高校・女子チーム「カラフルメルヘンハリケーン」



①えっ こんなところにも?



①この日1時間で集めたごみの総重量は166.7kg



①1位に輝いたチームAsahi(アサヒビル(株))



①ユニフォームがまぶしい錦系中学野球部のチーム



①息の合った吾ニフラワーズ(吾妻橋二丁目町会・婦人部の皆さん)



①徹底的に植え込みを探すチームAsahi

おもてなしのころを 伝えたい

チームワークの良さは、どこにも負けません。ごみ拾いもチームワークでがんばりました。

伝統工芸あり、歴史的な建築物あり、懐かしい町並みも最新のまちもあるのがすみだ。そして気軽にあいさつが交わせる人情味あふれるすみだ。このまちをもっとたくさんの人に知って欲しいです。



①「スポーツGOMI拾い大会」に参加した錦系中学野球部の皆さん

2 夏休み東向島体験ツアー 平成24年8月9日～12日、8月16日～19日

地元中学生・高校生が 東向島の魅力をガイド



コースの下見

①向島百花園では、地元の方や職員から歴史や見どころを教わる

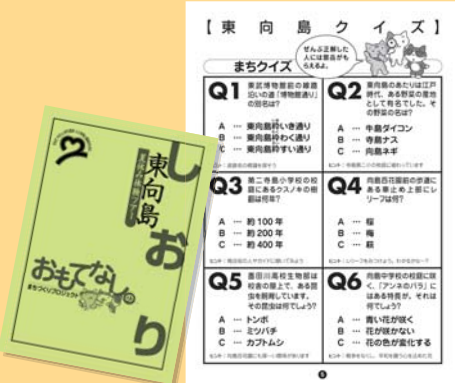


①墨田川高校生物部の生徒ガイド。リンゴの実の付きが良いのは、飼育しているミツバチが貢献?



①「葉っぱを指でこすると、ハッカの匂いがするでしょ」

①東向島のまち歩きを楽しめる「まちクイズ」が付いたしおり



①「この通りの名前は何というでしょうか?」とクイズを出題する、中学生ガイド



①「第二寺島小にあるクスノキの樹齢は何年でしょう?」



①ミツバチの話になると止まらなくなる高校生ガイド



①商店街が町起こしに栽培している「寺島ナス」を紹介

いよいよガイド本番



①すっかりガイドが板につく



①昼食は、もんじゃ焼き体験。東向島の商店街が好きという、向島中学校の生徒たちがお手伝い



①「お店のしごとは初めて」。ちょっと緊張ぎみの中学生



①もんじゃの食べ方を教える中学生ガイド



①トッピングでお手伝い

すみだ やさしいまち 宣言

人と地域と
環境のために



わたくしたち墨田区民は、
21世紀という新しい時代を迎えるにあたり、
「やさしさ」や「おもいやり」の心を大切にして、
人と地域と環境に対してやさしいまちをつくり、
未来の世代に引き継いでいくために、次のとおり行動します。

1 人と人とのふれあいを大切にして、
お互いに支え合う
「人にやさしいまち」の実現に努めます。

私たちの行動指針

- ① 大人も子どもも進んで「あいさつ」し、人と人とのふれあいを大切にしよう。
- ② 家庭、地域社会、学校の連携で、健全で心豊かな青少年を育てよう。
- ③ 地域の行事に参加しよう。
- ④ おとしよりや体の不自由な方などを思いやり、お手伝いしよう。
- ⑤ 誰にでも、おもてなしの心で接しよう。

2 まちをきれいにし、他人への迷惑行為や犯罪をなくし、
すべての人が安心して暮らせる
「地域にやさしいまち」の実現に努めます。

私たちの行動指針

- ① 地域の安全と安心のため、防犯・防火につとめよう。
- ② たばこの吸い殻やごみのポイ捨てはやめよう。
- ③ ペットを飼うときは、マナーを守ろう。
- ④ 自転車を放置しない、させない。
- ⑤ 家族や地域の人達と一緒に、清掃活動や美化活動に参加しよう。

3 環境に配慮し、限りある
資源を大切にする
「環境にやさしいまち」の実現に努めます。

私たちの行動指針

- ① 環境について学習し、生活に活かそう。
- ② 電気・ガス・水を大切に使って、地球温暖化を防ごう。
- ③ 地域の緑を守り育てよう。
- ④ 雨水をたくわえ、活用しよう。
- ⑤ 「もったいない」の気持ちを心がけよう。



①菓子遍路一哲 と菓子づくりに挑戦



①「お姉ちゃんが教えてあげるね～」

次は自分たちが まちの元気を上げたい

最初は難しかったけど、参加者のやさしい声に助けられました。子どもたちに自分たちのまちのことを伝えられたかなと思います。

私たちが暮らす東向島は、人が温かくて、いつも笑顔で、とてもフレンドリーなところが自慢です。いつもまちの大人たちから、元気をもたらしているから、次は自分たちがつなげたいと思います。



①ツアーのガイドを努めてくれた向島中学校の皆さん

3 紙すき体験 平成24年10月20日



思いのこもった 手作りの招待状が できあがりました

すみだ教室の受講生の皆さんが、牛乳パックをリサイクルして作る紙すき体験に挑戦しました。平成25年に50周年を迎えるすみだ教室が、記念式典の招待状をみんなで手づくりしようと企画したものです。

紙すきを教えるのは、すみだリサイクルの会の皆さん。心のこもった招待状で【おもてなしのころ】を伝えたいというすみだ教室の受講生たちの思いに、たくさんのメンバーが応援にかけつけてくれました。

*「すみだ教室」は障がいをおもちの方々の生涯学習の場です。



①「ミキサーで水に溶かした牛乳パックの繊維です」



①みんなで「芸術作品」に挑戦



①アイロンをかければ完成

①手作り感たっぷりの招待状が完成！

「もったいない」の 心を伝えたい

使用済みの牛乳パックでも、ちょっと手を加えれば生まれ変わります。自分にとって不要なものでも、まだ使えるものもいっぱいありますよね。私たちは「もったいない」の心を次に伝えるお手伝いをしています。

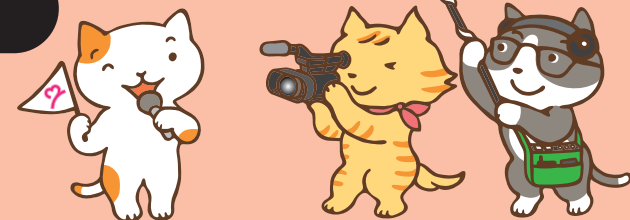


①「これなんか芸術作品じゃない？」



すみだリサイクルの会の皆さん

4 まちかど こども 放送局 平成24年10月8日・14日・11月3日



子どもレポーターが すみだの魅力を 体験レポート

記者になってまちを取材

すみだのまちの魅力を伝える映像作品を作るために、小学生28名が記者になって、まちに飛び出して取材をしました。いつも遊んでいる大横川親水公園の裏舞台を探索したり、車椅子・アイマスクの体験をしたり、伝統工芸のお店を調べたり。

素材が集まったら編集です。シナリオづくりやナレーションの録音もすべて子どもたちによるもの。完成した10本の自信作をインターネットで配信しました。



①ツレッキング(アイマスク体験)
補助する人の声が頼り



①アトリエアミーチ
片野さんに「革のまちすみだ」のもののつくりを取材。「ヘビ革だって、こわあ〜い!」



①小梅一丁目町会会館
民生・児童委員の山本さんに地域の見守りのお話を取材



①ツレッキング(車椅子体験)
「車椅子の操作は、思った以上に難しいよ」



①すみだまつり訪問
「環境にやさしい」エコバッグづくりを体験



①ちいさな硝子の本の
博物館
館長の村松さんにガラス工芸の魅力を取材



①大横川親水公園
地下の浄水施設を探索



片岡屏風店①
大小さまざまな刷毛があって、それぞれ用途が違う



①点訳きつつき
代表の斉藤さんに点訳のしごとについて取材



①梅鉢屋
和菓子づくりや日本のお茶の文化を取材

クリエイターになって映像作品づくり



①「うまく録音できたかな〜」



①「ここはみんなでいっしょに言おうよ」



①「おやっや、何か聞こえるぞ」「どう? 決まった?」

レポーターになって番組ライブ放送



①ナレーション録音。「せえの!」



①ナレーション録音。
「せえの!」「すみだに遊びに来てね!」



①写真選び。「みんな使いたいな〜」



①チームごとにすみだの魅力をレポート



①ライブ中継



①「すみだに遊びにきてね〜!」

①「工房にはいろんな種類の革がありました!」と語るすみだ教室のアトリエ・アミーチのレポートを発表

5 巻き寿司でおもてなし 平成25年1月25日

日本の食文化で外国人を おもてなし

墨田区に暮らす外国人に、食を通して日本らしさやすみだのおもてなしの心を伝えようと、花巻き寿司の体験教室を開催しました。外国人向けに格安ホテルやバーを提供するカオサン東京ゲストハウスと、主婦目線で安心安全のまちづくりを進める墨田区生活学校の皆さんのコラボレーション企画です。

台湾、イギリス、フランス、オランダなど、色々な国から来た外国人が参加。見て楽しい、食べておいしい。みんながわいわいつながって、もっとうれしい、を体験しました。



①墨田区生活学校の皆さんが準備した花巻き寿司の見事なお手本



①下準備。「外国人の口にも合うように砂糖は多めに入れておいたよ」



①思わずつまみ食い



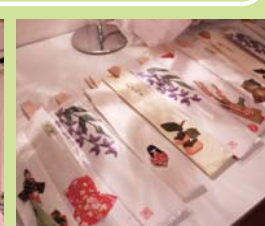
①「デキター〜」。じょうずに花びらの形になりました

思いやりを形にするのがおもてなし

外国から来た人たちにどうすれば喜んでもらえるだろう、と相手の立場になって考えるのがおもてなしだと思うんです。そしてちょっとびっくりさせる要素を入れるのがコツですね。相手が気遣いしてしまうようなものではなく、できる範囲でいいんです。



①墨田区生活学校の中島さん(右)



①この日のために作ったという手作りの箸入れ



①「エイ! ムツカシ!」

6 実施報告／交流会 平成25年3月29日

おもてなしのまちづくりを 次世代につなげたい

「すみだ やさしいまち宣言」の運動を推進するための区民代表による行動委員会で、おもてなしのまちづくりプロジェクトの活動を報告しました。映像を用いた振り返りと、プロジェクトに協力いただいた方々へのインタビュー。おもてなしのまちづくりについて、体験したことや考えたことを、みんなで出し合いました。

おもてなしの心で、一人ひとりが行動を起こすことの大切さを再確認しました。

①「相手の立場になって考えたり、人に対する思いやりの気持ちが、おもてなしですね」と語る墨田ボランティアサークル連絡会の井上さん



①「小さい子にも参加してもらって、おもてなしの心を感じてもらえれば…」と語る、民生・児童委員の山本さん



①「映像づくりが楽しかった!」と言う、まちかどこども放送局の小学生レポーター



①「たくさんの地域の人たちと交流できたことが楽しかった!」と語るすみだ教室の宮川さん



①「まちの色々なことを知ることができました!」と言う、東向島夏休み体験ツアーの中学生ガイド



①「ユニークな取り組みで、たくさんの人が参加できた!」と報告する、すみだ環境フェア2012実行委員の伊藤さん



①外国から来た人たちに喜んでもらおうと、下準備に一生懸命になった思い出を語る墨田区生活学校のみなさん